

西宮市出身ピアニスト 屋野晴香さん

ウィーン一流ホールに

西宮市出身のピアニスト屋野晴香さんが25日、オーストリア・ウィーンの「ウィーン楽友協会ホール」にデビューする。同ホールは、ウィーンフィルが拠点とする由緒ある舞台で、力ある演奏家しか立てないことで知られる。屋野さんは「あこがれの場所。機会を与えてくれたみなさんへの感謝の気持ちを込めて演奏したい」と意気込みを語る。

(片岡達美)



25日「感謝の気持ち込めたい」

屋野晴香さん

「舞台演奏こそがピアノ

屋野さんは県立西宮高校音楽科を卒業後、東京芸大を経て2007年、ウィーン国立音楽大に留学。同大学院を最優秀で修了し、14年に修士号を取得した。現在はウィーンを拠点に活動する。

同日は修了試験の時と同じフルート、チェロ奏者との3人編成による「トリオ・プリズマ・ピエンナ」で、室内楽を演奏する。ウィーンゆかりのハイドンや現代アメリカの作曲家リーバーマンの曲など、古典から現代まで幅広く取り上げている。

「ウィーンの国営放送局共催の学内コンサートに出演するのがきっかけで、楽友協会が主催する、実力ある若手を紹介するコンサートへの出演が決まった。」

「当日は修了試験の時と同じフルート、チェロ奏者との3人編成による「トリオ・プリズマ・ピエンナ」で、室内楽を演奏する。ウィーンゆかりのハイドンや現代アメリカの作曲家リーバーマンの曲など、古典から現代まで幅広く取り上げている。」

「ウィーン国立音楽大に留学。同大学院を最優秀で修了し、14年に修士号を取得した。現在はウィーンを拠点に活動する。」

「同日は修了試験の時と同じフルート、チェロ奏者との3人編成による「トリオ・プリズマ・ピエンナ」で、室内楽を演奏する。ウィーンゆかりのハイドンや現代アメリカの作曲家リーバーマンの曲など、古典から現代まで幅広く取り上げている。」

「ウィーン国立音楽大に留学。同大学院を最優秀で修了し、14年に修士号を取得した。現在はウィーンを拠点に活動する。」

「同日は修了試験の時と同じフルート、チェロ奏者との3人編成による「トリオ・プリズマ・ピエンナ」で、室内楽を演奏する。ウィーンゆかりのハイドンや現代アメリカの作曲家リーバーマンの曲など、古典から現代まで幅広く取り上げている。」